

平成13年度

まちづくり懇談会

記録誌



平成14年2月

入 善 町

目 次

1、 実施要領	1
2、 開催一覧表	2
3、 まちづくり懇談会記録		
(1) 入善地区	3
(2) 上原地区	9
(3) 青木地区	13
(4) 飯野地区	19
(5) 小摺戸地区	24
(6) 新屋地区	30
(7) 櫛山地区	35
(8) 横山地区	40
(9) 舟見地区	46
(10) 野中地区	53
4、 ご意見カード集約	59

平成13年度「まちづくり懇談会」実施要領

1、趣旨

住民からの意見聴取や広報・広聴活動を拡充し、住民の意見を把握・反映するためまちづくり懇談会を開催する。

2、開催内容

(1)構成

町政全般にわたる「まちづくり」、地域にとって課題となっている「地域課題」などについて、当局と住民が話し合う。

(2)進行

地元主導で進行する。

(3)要望

道路、用排水路改修などの要望事項は後日文書で回答する。

(4)出席者

町長、助役、収入役、教育長その他、課長が出席する。

(5)ご意見カード

出席者に当日の課題について、意見要望、提言を書いてもらい、終了後に提出してもらう。

まちづくり懇談会の式次第（2時間めど）

- 1、開会あいさつ（区長会）
- 2、町政についての現況説明（町長）
- 3、座談会 第1部「まちづくり（地域課題含む）全般」 第2部「フリートーキング」 進行は地元主導
- 4、地元議員・助役あいさつ
- 5、閉会（区長会）

平成13年度 まちづくり懇談会 内容一覧

日	11月2日	11月8日	11月15日	11月16日	11月19日	11月22日	11月23日	11月26日	12月3日	12月4日	
曜日	金	木	木	金	月	木	金(祝)	月	月	火	
地区	野中	青木	横山	飯野	上原	小摺戸	入善	梶山	舟見	新屋	
会場	農村婦人の家	働く婦人の家	横山漁村センター	環境改善センター	産業展示会館	小摺戸地区公民館	武村福祉会館	梶山地区公民館	舟見コミュニティ公民館	新屋地区公民館	
要望提出日	11月1日(水)	10月23日(月)	10月13日(金)	10月17日(火)	11月6日(月)	10月23日(月)	11月15日(木)	11月15日(木)	11月26日(月)	11月26日(月)	
打合せ日	10月27日(土)	11月1日(木)	11月7日(水)	11月7日(水)	11月12日(月)	11月1日(木)	11月15日(木)	11月15日(木)	11月26日(月)	11月26日(月)	
区長会長名	大割 恒男	杉原 德行	永山 恒弘	井田 榮一	村田 重定	舟根 努	澤田 俊彦	小杉 章夫	野島 政博	腰本 一郎	
座長	板東 久男	西川 久美子	山崎	本多 宗高	金沢 妙美	寺林 邦雄	大角 義徳	板東 明良	若林 清彦	長谷川 一郎	
記録	小森 裕	小森 裕	永井 紀子	島尻 充浩	梅沢 武志	永井 紀子	大角 秀雄	島尻 充浩	梅沢 武志	藤田 義治	
住民への周知	10月26日(金)	11月1日(木)	11月8日	11月7日(水)	11月12日(月)	11月7日(水)	11月16日(金)	11月16日(金)	11月26日(月)	11月26日(月)	
	1. 放棄田等について ・対応について ・有効利用	・下水道整備の進行状況、今後の計画 ・海洋深層水の利用計画、実施状況について	1. 通学路の安全確保と拡張整備促進 2. 漁村センター周辺公共施設の整備促進について	1. 海洋深層水の利活用について 2. 新企業の誘致への具体化について 3. 学童の通学確保のため東狐地内の一方通行規制について 4. 飲料水の塩水化の対策について 5. 市町村の広域合併について 6. 農業公社の設立について 7. 学童保育のための設備の確保について	第一部 まちづくり 1. 入善町の活性化運動について ・観光・物産・グリーンツーリズム 第二部 地域課題 1. 上原小学校跡地の整備について 2. 「健康と福祉の里うえはら」の福祉活動の推進について 3. 8号バイパス建設の諸問題について	1. 農業問題について 要旨 生ごみを有機肥料とするごみのリサイクル化を促進するとともに、この肥料を使用した特産品の生産・販売に取り組んではどうか。 2. JR入善駅前の駐車場について 要旨 JR入善駅前及びその周辺には、通勤者用の駐車場が整備されているが、一般用のものがない。 一般用の駐車場があれば便利であるばかりでなく、駅の利用者も増えると思うのでは是非お願いしたい。 3. 小摺戸地区の活性化について 要旨 小摺戸地区は、少子高齢化が進み地区としての機能低下が懸念されるので、少なくとも次の点について善処方お願いしたい。 (1) きめ細かな除雪（出勤時に間に合うこと。1人暮らしや高齢者世帯の宅道除雪。） (2) 町道の整備 (3) 児童生活館(仮称)の設置 (4) 北陸新幹線工事用道路等を利用した公共用道路の早期建設	1. 中心市街地の活性化対策 ・入善地区公民館の建設について ・商店街の空洞化対策	(1) 梶山地区周辺の道路計画について (2) 下水道工事の進行状況について (3) 市町村合併について町の方針はどうか (4) 働く場所の確保について(企業誘致ならびに深層水の活用方法) (5) 農業公社の計画について (6) のらんまいカーについて(荒又、田の又の運行を継続願いたい。また、ふれあい温泉に居る時間を長くしていただきたい) (7) 老人対策について (8) 法務局跡地の開発について (9) 温水プールを作ってもらえないか (10) フリートーク	1. 舟見保育所の改築について 2. 学校週5日制における子育てについて 3. 地鉄バス新屋線が廃止された場合のすずらん作業所への通所問題 4. 市町村合併 - 山沿いにおける情報提供 5. フリートーク	1. 町道除雪路線の拡幅改良について 2. 発電所美術館・県指定天然記念物「下山八幡社」周辺の環境整備について 3. フリートーク	
ポスター枚数	6	10	13	27	13	9	25	13	8	8	
出席者	4役	町長、助役 収入役、教育長	町長、助役 収入役、教育長	町長、助役 収入役、教育長	町長、助役 収入役、教育長	町長、助役 収入役、教育長	町長、助役 収入役、教育長	町長、助役 収入役、教育長	町長、助役 収入役、教育長	町長 収入役、教育長	
	出席課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長	参事 総務課長
		参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長	参事 財政課長
		企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長	企画広報課長
		健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長	健康福祉課長
		農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長	農業水産課長
		住民環境課長	海洋深層水課長	建設課長	住民環境課長	住民環境課長	住民環境課長	住民環境課長	住民環境課長	住民環境課長	住民環境課長
		生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長	生涯学習・スポーツ課長
	建設課長	建設課長	建設課長	建設課長	建設課長	建設課長	建設課長	建設課長	建設課長	建設課長	
	下水道課長	下水道課長	下水道課長	下水道課長	下水道課長	下水道課長	下水道課長	下水道課長	下水道課長	下水道課長	
消防署長	消防署長	消防署長	消防署長	消防署長	消防署長	消防署長	消防署長	消防署長	消防署長		
事務局	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	大角 秀雄	
庁内出席人数	15	16	12	15	13	14	15	14	12	14	
終了時間	9:30 PM	9:10 PM	9:30 PM	9:30 PM	9:20 PM	9:20 PM	9:20 PM	9:20 PM	9:20 PM	9:20 PM	
参加住民人数	42	72	86	91	131	41	65	68	54	56	
(参考)世帯数	231	562	564	1,500	942	400	2,271	691	558	636	

入善地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月23日（金）
午後7時30分～

会 場：武村福社会館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）中心市街地の活性化対策

住民

入善地区だけが地区公民館を持たず、間借り状態である。中心市街地の活性化対策ということで、その核となる入善地区公民館を建設して欲しい。

町長

現在は、入善地区の皆さんには町民会館や武村福社会館を使ってもらっている。今、中心市街地活性化のためにいろいろと考えており、一つの案だが、中央公民館跡地に複合的な建物を作り、それを核として、商店街の活性化を図ろうと考えている。その中に、入善地区公民館の部屋を設けることも考えられる。現在、TMO構想を作っているが、実行には相当の資金がかかるので、皆さんの意見を聞き、反映した良いものを作りたいと考えている。ご協力願いたい。

住民

議会側ではこれに対してどう考えているのか聞かせて欲しい。

大橋議員

今、国全体の補助金が削減されている中で大きな建物を建てる必要があるのか、今後皆さんと考えていかなければならないと考える。

町長

武村福社会館は、従来いろいろと貸していたが、それを止め、空き部屋などは入善地区の公民館として使って頂くようにしたので、ご協力願いたい。

住民

何でも事業をするのには青写真が必要である。入善町中心市街地の活性化について、それはあるのか。

町長

平成10年に入善町の中心市街地の活性化ということで基本計画を作った。しかし、実際にやるには、大変な金額と時間がかかり難しい。そこで、TMOを立ち上げて見直しをしながら実現に向けて検討している。

住民

入善地区公民館の建設は相当なお金がかかる。現在、町民会館や武村福社会館を利用しているが、それらが満員で使えなくなる状態になれば、建設を考えればよいのではないか。

住民

商工会の方では、啓蒙ということで勉強会を開いているが、結論が出ない。また、農協マーケットが来年3月に閉めると聞いている。ますます中心市街地が過疎化になる。活力ある複合的な施設を作って欲しいと願っている。

入善地区公民館長

現在2階に公民館として1部屋ある。それ以外の部屋も使って良いといわれているが、そこを使うと冷暖房費が5倍程かかり負担が大きい。

複合的な施設の中に公民館を作るという案があったが、公民館は公民館としてのいろんな部屋が必要で、それらの機能を発揮しなければ意味がない。また、旧健康センター跡地に作るというが、いろんなことができる複合施設の中に公民館の機能を持った施設を作るには狭いのではないか。

町長

作るとなれば悔いの残らないものを作りたい。しかし、商店街の活性化や公民館としての機能などを考えると、難しい話である。公民館単独ならば2～3億円で出来ると思うが、それだけではまた悔いの残る事になると思うので、中心市街地活性化のため、十分に議論して、悔いのないものを作りたい。

住民

中心市街地の活性化ということなので、公民館にこだわることはないのではないかと。もっと広々としたところで建設すればどうか。

(フリートーカー)

住民

入善町の8号バイパスの拡幅はいつか。また、拡幅の際、役場前と水の小径の交差点は地下道で町に行けるよう出来ないものか。高齢者が増えているので、スロープの交差点を造って欲しい。

町長

国道8号の拡幅は20年位先と思ってもらいたい。計画が変わって黒部側から順番に進めるようになった。今年は、黒部川の四十八カ瀬大橋が開通する。その後、飯野、青木、上原と順次に国道8号バイパスをやることになっている。従って、国道8号拡幅に伴う役場前の地下道については、まだ先の話である。

住民

13区の米沢さんの前に私道があり、下水道工事が出来るとか出来ないとかの話があるが、町としてはやる気があるのか。

町長

町としてはやりたいが、残念ながら私道なのでできない。その方をお願いしたが、無理だった。

住民

下水道は生活に直結しているものなので、私道ということで簡単に片付けてもらっては困る。町はもっとがんばって欲しい。

住民

下水道の第2次工事に入っているが、第1次工事の時に町民から出た交通面などの苦情など要望が反映されているのか。

本多総務課長

これからも町民の方の要望を聞きながら、皆さん方に極力迷惑をかけない方法でやっていきたい。

住民

6区のところだが、下水道工事が終わり2週間も経たないうちにまた別の事業で舗装した道路をはがし排水の工事をしている。なぜ、このような無駄なことをするのか。

本多総務課長

下水道の場合、舗装は2通りあり、その場所は下水道が終われば仮舗装を行っている。その後、本舗装をするが、その場所は、建設課の事業で排水工事を行ったと考えられる。しかし、おっしゃるとおり、縦割りの所もあるかと思うので、これから建設課と下水道課がよく話し合って、そのようなことがないようにしていきたい。

住民

6区の工事については、町と班の人とが充分話し合いをして、納得がいく上で行った。町内とすれば、工事が重なってしまったためにそのような状態となった。できる

なら正確に早く終わって欲しいと願っている。

住民

工場から出る煤煙や臭い、暴走族のバイクの騒音など、住民の迷惑になるものについては、役場のどこの課にいけばいいのか、それらのシステムはないのか。

福沢住民環境課長

工場の煙については、町からも言っている。暴走族のバイクの騒音については、警察と連絡を取りながら対応したい。

司会

バイクの通る時間帯等を調べて警察に言って欲しい。

住民

警察に言うと、通報した者の氏名などを聞かれたりする。当事者間に入りたくないなので、町が解決して欲しい。

住民

いろんな苦情などに対応する住民サービスとして、役場の窓口を作って欲しいということだと思う。

本多総務課長

現在、苦情専門の係がない。それぞれの担当課で対応しているが、今後、精一杯対応していきたい。

住民

いろんな苦情に対して重い軽いの分別ができると思う。担当課で処理するとなると時間がかかる。もっと早く対応できるシステムを作って欲しいということである。

自分は、区長をやっており、役場へはメールで連絡をしているが、例えば公園のブランコの金具が壊れているのを直してくれとメールで伝えたのに、2週間かかってもボルト1本直せない。建設課からどこへいっているのか知らないが、そういう簡単なことに時間がかかるということに問題を感じる。

助役

今の話はワンストップサービスのことだと思う。過去に総合案内窓口をつくったが、うまく機能しなかった。つくるとなるとコストや人件費がかかる。皆さんの要望にできるだけ早く応えられるようにしていきたい。

住民

今問題になっていることは、15区において水道組合の組合長の引き受け手がないという状態である。町に簡易水道の管理をお願いしたい。もしできないのなら、業者に委託できないものか。

本多総務課長

簡易水道は、下水道課が担当している。町には簡易水道が200弱ある。そのうち町が管理しているのは、100程である。それ以外は、個人で管理してもらっている。下水道課で細かい相談をして欲しい。

住民

町でポイ捨て条例が制定されたが、どういう趣旨で制定されたのか。また、県外、町外の釣り人が海岸にゴミを落としていく。町は、ポイ捨て条例を作って取り組んでいるということをしてPRして、きれいな海岸をつくってほしい。

福沢住民環境課長

ポイ捨て条例は平成11年10月に制定された。山や海岸、道路など公共の場でゴミを捨てるなということは、広報やクリーン入善で皆さんに言ってきた。しかし、モラルを守らない人が多く、捨てていく人には何も言えないので、町では海岸等をパトロールして、ゴミを拾っている。ゴミだけでなく、犬の糞にも困っている。犬を散歩させるときには、袋などを持っていき後始末して欲しい。

住民

あくまで町は、個人のモラルに問うという姿勢か。条例を作ったからには、ゴミ箱を設けるなどしたらどうか。

福沢住民環境課長

空き缶等ポイ捨て条例については、罰則等があるので、今後ともPRやパトロールに力を入れていきたい。

住民

町民とすれば、ポイ捨て条例が出来たのだから看板とか立てるべきである。財政上の理由で難しいと言われるが、もう少し予算をかけてPRして欲しい。

住民

釣り人が多くボートなどが出ている。また、県内外から多くの人々が来るので、例えば「じょうべのま」の周辺にキャンプ場や舟をストックする場所を作ってはどうか。

大角農業水産課長

町の方では、総合計画の中にフィッシャーアリーナの構想がある。全部の海岸に作ることはできないが、遊漁船の対応をその中で明らかにしていきたい。

住民

花月公園と、こぶし公園のトイレが臭う。特にこぶし公園は、酔っぱらいがトイレ周辺に小便をしていくので臭い。下水道工事の際、改築して欲しい。

松島財政課長

こぶし公園は、他と違って構造がすり鉢状になっている。改築については、検討したい。公園のためにあるトイレなのでトイレの位置も含めて検討したい。

住民

水の小径にある公衆トイレの身障者用トイレの非常ベルが鳴りっぱなしの時がある。素人では止められないので、最新のタイマー式の非常ベルに換えればどうか。また、非常ベルがなった場合、どこに連絡が入るのか。また、誤報か本当に緊急なのかわかりにくい。どの様に対応するのか。

松島財政課長

トイレの管理は、建設課が担当しているが、日常の管理はシルバー人材センターにお願いしている。新型のベルの導入については今後検討していきたい。通報についても検討したい。

住民

高速道路のパーキングに、タイヤ等を落としていっている。どうにかならないか。また、草が生い茂っている。何とかして欲しい。

松島財政課長

高速道路の下は除雪車の関係で町が使用している。ホイール付きタイヤは、回収しないこととなっている。被害があれば住民環境課が対応する。草については、適正な除草剤を使うよう道路公団に申し入れたい。

閉会

上原地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月19日（月）

午後7時30分～

会 場：入善町産業展示会館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）入善町の活性化運動について

～観光・物産・グリーンツーリズム等～

住民

観光・物産を中心としたまちづくりについて3つのことを提案したい。

まず1つ目は、町営の「道の駅」の新設である。地場製品の販売や町をPRする場が必要である。

2つ目は、海岸一帯の観光開発である。深層水取水施設から田中のじょうべのまを結んだサイクリングロードを作ってはどうか。また、町の財産や文化、文学をからめた総合的な博物館を建設してはどうか。

3つ目は、グリーンツーリズムの導入である。農村資源を活かし、都市から人を呼ぶことによって町が活性化する。この考えに基づいたまちづくりをしてはどうか。

住民

グリーンツーリズムは入善町では導入済みである。日本大学の水嶋先生の体験授業がそれである。今後は、短期ではなく長期滞在型の体験に取り組んでいかななくてはならない。

町長

観光、人の交流を大きくやっていかななくてはいけない時代に入っている。

将来的には、町物産を販売できる場や体験型の売場を作っていきたい。また、グリーンツーリズムの考えも導入していきたい。

サイクリングロードについては、本格的に取り組んでいきたい。また、博物館を作る場合には、深層水を活かした海藻の研究ができる場を設けたい。

（2）上原小学校跡地の整備について

住民

上原小学校と北側のプールを取り壊し、跡地に住民がふれあえる場を作ってはどうか。何を作るかは長期的な展望に立ち、住民が話し合っ決めて決める必要がある。

住民

現在、体協の倉庫として活用している。新しい建物を作る場合には、配慮をして欲しい。

町長

上原の方には心配をかけている。14年度中に、プールを取り壊したい。来年にはポンプ室と一緒に完全に壊す。跡地には、地域の特長を生かしたふれあいの場を作りたい。将来的には、国営かん排の建物、車庫、土地改良の建物についても考えていきたい。

(3)「健康と福祉の郷うえはら」の福祉活動の推進について

住民

サンウェルやオアシスの活用や研修講座、ボランティア活動を通して、利用者と心の交流を図るなど、福祉ボランティアの輪を広げたい。異世代交流の名において福祉活動をどのように推進していけばよいのか。

一人暮らしが増加し、近所の連帯意識が薄れていっている。心が通い合い、支え合う地域を作るにはどうしたらよいのか。

町長

ボランティアの養成については、町民の10%が登録し、活動してもらいたいと思い、数値目標を立てて行っている。

声かけ運動については、民生委員や社会福祉協議会の方が高齢者を支えている。また、青少年育成や少子化対策にも尽力頂いている。行政の力だけでは成果は上がらない。今後も住民の協力をお願いしたい。

住民

町でどのような福祉サービスを行っているのかわからない。受けられるサービスの一覧表があれば助かる。また、介護保険や高額医療等について相談しやすいように、地区に相談員や町に相談窓口を設けて欲しい。

町長

健康福祉課に相談しに来て欲しい。また、出前講座で皆さんのご質問に答えたい。

住民

のらんマイカーは3区まで通っているが、1、2区の人たちは遠すぎて利用しにくい。1、2区も止まって欲しい。また、いろんな施設は8号線の上にはばかりある。特養施設等を海辺にも作って欲しい。

町長

特養施設のベッド数は充実している。これからは、在宅で介護しやすい施策を考えていきたい。

飛田商工観光課長

のらんマイカーについてはいろんな地区から要望がある。平成13年7月から利用度を調査したが、1人も乗らないときがある。その点も考慮して、利便性が高い運用計画を立てていきたい。

住民

声かけ運動に広がりがない。毎月11日を「福祉の日」として町民挙げて、声かけ運動を実施してはどうか。

町長

検討していきたい。

教育長

青少年の教育として、地域の方が声をかけたり、子どもたちが老人を訪ねたりしている。このようなことを町全体に広めるには、地域住民の協力が必要である。

住民

のらんマイカーについてだが、正規のルートと連絡が入れば通る回り道ルートをつくってはどうか。

町長

時間の問題もあるので検討させていただきたい。

飛田商工観光課長

バスを運行するには国土交通省の許可が必要である。規制の中で運行をしなければならないので、増車やルート変更については、町全体を考え、住民の意見も採り入れて、検討していきたい。

(4) 8号バイパス建設についての諸問題について

住民

8号バイパスの建設は国が主体なので、町にはパイプ役をお願いしたい。そこで、町に対して4つのお願いがある。

まず一つ目。4区は斜め横断なので三角田が多い。全く農作業が出来ない田もあり、地権者が心配している。できるだけ、地権者の要望に応えて欲しい。

2つ目は、騒音対策である。環境基準をクリアしているからよしとするのではなく、その住民のことも考えて環境対策を考えて欲しい。

3つ目は、除草対策である。当面は2車線で供用するので、農地の半分が買収されたままの状態に残される。入善町は米作りを中心に進めているので、除草対策をしっかりとって欲しい。

4つ目は、上原地区に地下道が3箇所できるらしいが、近くに上青小や西中があるので、防犯対策をしっかりとって欲しい。

浜田建設課長

一つ目については、三角田の買収のことだと思う。町としては、道路用地のみの買収しか考えていない。田に平行な土地よりも、三角田の方が単価は高くなっている。

騒音対策については、基準を超える場合は対策を考える。周辺環境がよくなるように国に働きかけていきたい。

除草については、国土交通省で年間3回の草刈りをする事になっている。また、滑川のように花を植えているところもある。

地下道安全対策については、照明器具を取り付けたいと思う。要望があれば、対策を考えていきたい。

閉会

青木地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月8日（木）

午後7時30分～

会 場：働く婦人の家

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）下水道整備の進行状況、今後の計画について

住民

下水道整備は、現在どこまで進んでいるのか。

町長

町全体の下水道整備の総延長は307km（うち農業集落排水は104km）、予算が440億円となっている。平成12年度末までに公共下水道関連は約46km終わり、67億円要した。また農業集落排水では約42km終わり、35億円を要した。合計で88kmが終わり、102億円かかった。整備率は28.7%である。平成13年度末までには、総延長約119km、整備率にして約40%を予定している。

これまでの整備の範囲は、入善市街地、東五十里、田中、八幡、横山の一部、吉原、柳原などで、公共マスの設置は、1,900ヶ所が完了している。また、農業集落排水事業では、小摺戸地区は、9年度から工事を始め、12年10月に完成し、12年11月から供用開始を行っている。また、新屋地区についても、現在、整備中で、平成16年度までに完成を目指している。

入善浄化センターの整備については、平成11年度～今年の8月までの間に、管理棟や処理施設等の一部、2,500トンの処理施設（約7,000人の処理）を完成させ、入善浄化センターの一部の供用開始を行ったところである。整備の進行状況は、当初計画より2ヶ年ほど進んでいる状態である。

今後の計画について。現在、国の事業認可を受けている区域は、平成18年度までに完成する予定である。青木地区については、平成13年度末から14年度にかけて、JRの海側の区域（目川、木根）の下水管及びマンホールポンプ場を着工し、完成させたいと考えている。事業認可の区域である国道8号線の下側の区域については、平成18年度まで、完成予定としている。また、国道8号線の山側の区域については、18年度以降の着工となる。町全体では、平成25年頃までに町全域を完成させたいと考えている。

中島下水道課長

青木地区については、平成18年度まで8号線の下側をやっていく。現在東五十里に浄化センターがあるので、海岸側からやっていく。東五十里から芦崎、古黒部方面

へ進めていきたい。8号線の上については、平成17年頃から第2期の事業認可をしていきたい。将来的には、平成25年までに完成させたい。

住民

25年までに完成すると言うが、工事を上からやったり下からやったりするのはおかしいのではないか。計画はどうなっているのか。

中島下水道課長

18年度までは第1期工事ということで、入善、上原、青木の8号線の下と飯野、横山のJRの下を進める予定である。高速道路の上(小摺戸、舟見、野中)は、農業集落排水事業といって国土交通省と農林水産省が並行して、事業を進めている。

住民

最終工事はどこになるのか。

中島下水道課長

東五十里になる。

(2) 洋深層水の利用計画、実施状況について

住民

海洋深層水の利用計画、実施計画はどうなっているのか。

町長

深層水を汲み上げる取水施設が9月に完成し、試験取水が始まっている。平曽川の沖合、約3,300m、水深384mのところから、1日当たり2,400トンの深層水を汲み上げている。現在、深層水を一般に供給する施設を建設中で、12月に完成する。12月20日頃から、本格的に供用開始を予定している。来年3月いっぱい、企業を含めすべて無料で提供する。町民の皆さんには1年間、無料で開放したいと考えている。

この深層水は、水産振興として、蓄養などの漁港施設での利用と、入善漁協が行う養殖事業に活用する。深層水を使った養殖事業は日本で初めてであり、エゾアワビの養殖に取り組むことになっている。新しい入善の特産として期待している。水産以外では、食品加工やミネラルウォーター、化粧品など新商品の開発が行われている。今後は、農業分野の活用も検討していきたい。

鍋谷海洋深層水課長

現在作っている供給施設の中に脱塩装置を置き、脱塩水を作り、提供していきたい。

住民

企業に提供するということだが、汲み上げは町がやるのか。また、どの程度利用されたら黒字になるのか。

鍋谷海洋深層水課長

町の役割は、素材を提供することだ。水を使って産業基盤整備を行う事が大きな目的だ。

黒字になるには、1日60～80トンの水が売れなければならない。しかし、当初はそこまでいかないだろう。

住民

現在の企業誘致はどれだけか。

鍋谷海洋深層水課長

買いに来る企業は多いが、現地で大量に水を使う企業の誘致は難しい。町では、企業誘致アドバイザーに委嘱しながら、誘致を行っている。

住民

施設の工事費はいくらか。

鍋谷海洋深層水課長

取水施設に8億円、供給施設に1億5千万円かかる。そのうちの約6割が国県の補助である。

住民

広い部分であっても、水を多くとれば、周辺の生態系に影響がでるのではないか。また、水質は変化しないのか。

鍋谷海洋深層水課長

生態系に影響はない。また、水質も変化しない。海洋深層水は、無限再生可能な資源である。

住民

排砂の影響はないのか。

鍋谷海洋深層水課長

黒部川から出た、濁った水は、河口のところで沈降する。すぐに沈まない細かい濁りは、海の表面を浮遊するが、それは沖合3kmのところまでである。よって、排砂の影響はない。今年の8月20日に検査をしたところ、濁りはなかった。

住民

脱塩水は、無料提供するのか。また、施設の維持管理は、誰がするのか。

鍋谷海洋深層水課長

脱塩水は、来年の3月まで無料提供する。施設の維持管理は、漁業協同組合に委託する。

(3) ケーブルの取り組みについて

住民

光ケーブルの状況が変わってきている。事業を町のみでやっていくのか、企業に任せるのか。

町長

平成12年9月に、「入善情報化計画」を策定した。この計画の目的は、光ファイバーを利用した高度情報通信基盤整備と、住民と情報の共有化である。今年、下水道の管内に光ファイバーを敷設し、サンウェル、役場、浄化センターを光ファイバーで結び、流量測定や管理に利用している。

光ファイバーを使った情報化とは、具体的にCATV事業(ケーブルテレビ)を指す。光ファイバーを使って全町内を整備し、情報化を入善単独で進めると、多額の経費がかかる。そこで、平成13年1月にCATV事業が遅れている黒部、朝日、宇奈月の一市三町と、すでに整備が終わっている魚津市にノウハウを教わりながら、二市三町で取り組むことになった。現在、二市三町の担当者レベルで協議会を立ち上げ、県からの補助も受けて整備計画を検討している。この計画によると、平成15年度から光ファイバーを利用したCATV網の整備に入ることになっている。早い地域では、平成16年度から利用でき、暮らしに役立つ情報が提供される。

今後の展開として、本年度中に計画の素案が出来る予定である。来年度中に皆さんにお知らせしたい。

整備の費用については、全体として約15億円かかる。そのうち7割は国県がもつので、町の直接の負担は約2億3千万円である。

皆さんと直接情報交換できるように、努めていきたい。

住民

光ファイバーを敷くには、業者が必要である。それは入善町のみでやるのか、それとも二市三町でやるのか。

大木企画広報課長

それについては、検討中である。

(フリートーキング)

住民

防火対策について聞きたい。家の件数に見合った水路が確保されていない。もし火事があった場合どうするのか。

町長

水路については、現地を見てから検討したい。また要望があれば、防火水槽を設けたい。

住民

地域と役場の距離があまりにもありすぎる。役場内の情報をデータベース化して、公開してほしい。また、役場は自然環境を守っていないようにみえる。これについて、どう考えているのか。

町長

個人情報以外はインターネットで公開していきたい。

自然環境については、自然を残しつつ、町が発展するようなまちづくりをしていきたいと思う。

住民

町の危機管理は、テロまで見込んだものなのか。

町長

現在、県の方でテロを見込んだ危機管理について話し合われている。マニュアルができ次第、皆さんにお知らせしたい。

本多総務課長

今度、入善町で防災訓練がある。テロにまで及ぶ訓練ではないが、これにより、地区の防災意識は高まるだろう。

住民

青木の方で、道の駅を作るという構想はあるのか。もしあるのであれば、深層水を使った施設を作ってみてはどうか。

助役

今のところ、具体的な構想はあがっていない。8号バイパス付近の土地利用については、十分に考えていかなければならない。

鍋谷海洋深層水課長
町としては、深層水を使った健康施設を作りたいと考えている。

閉会

飯野地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月16日（金）
午後7時30分～
会 場：環境改善センター

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）海洋深層水の利活用について

住民

アワビを5万5千個ほど養殖し、15年の10月に出荷する予定だと聞いている。消費地はどの範囲か。県外にも及ぶのか。また、産業経済常任委員会が視察に行った北海道では、18万個のアワビを養殖していたという。入善町は養殖を増やすのか。また、養殖施設を増設するのか。

町長

入善町ではとりあえず、5万5千個を目安として行う。その後の様子を見て、増やすか決める。販売については、宇奈月の旅館1軒あたり、アワビを年間2万個以上使用するというので、十分にやっていけると思う。

（2）新企業の誘致への具体化について

住民

入善町に就職先がないため、若者が戻ってこず、人口が減少している。町は企業誘致をしていると言うが、どうなっているのか。

町長

入善町は、確かに人口が減少している。現在の人口をいかに維持するかが大きな課題だ。そこで出てきたのが、深層水や土地・人・水を利用した企業誘致である。深層水についてはいろいろな企業から話がきている。水を使った企業誘致と既存企業の育成に力を入れていきたい。また、トーヨー被服跡地のように空いた土地を他の企業に紹介している。雇用が増えれば、人口が増える。人口が増えれば、財政が潤うことにつながるので更に努力をしていきたい。

（3）地域の問題について

住民

警察から、学童通学路の確保のため、県道小摺戸芦崎線の交通規制の要望があった。規制が実施されれば、車の迂回路が困難になり、県道に集中する可能性がある。実施

するにあたり、町、警察、県に以下のことをお願いしたい。

町に対し、冬期の迂回道路の完全除雪をお願いしたい。また、県道 Y 字路を拡幅して欲しい。

警察には、学童が横断する農免道十字路の点滅信号機を正常な信号機に改良してもらいたい。また、新バイパスの上飯野～東狐間の横断歩道に信号機を設置してもらいたい。

県に対しては、石屋前変形十字路の改良を含め、その前後の拡幅をお願いしたい。

浜田建設課長

除雪は、家のあるところはずべてやっている。

道路の拡張は、地権者の協力がなければ進まない。もし、そうなれば協力していただきたい。また、県道の拡張は町も要請したが、何カ所もできないとのこと。ただし、一方通行となれば県へお願いしに行きたい。

本多総務課長

信号機は以前から警察にお願いしている。地域の道路であるから、皆さんの協力がある。

住民

以前、県から、県道東狐～五郎八線は改良しない、ただし町が計画を起案した場合は協力する、と言われた。

(4) 飲料水の塩水化の対策について

住民(芦崎区長)

40年前、高波の被害により井戸に塩水が混じって大変であった。その後、自噴水を掘り、塩水化は止まった。しかし、井戸が増えたせいか、水位は下がり自噴が止まってしまった。逆に、海の水が浸透したのか真水に塩水が混じりだした。塩水化について、調査をして欲しい。

町長

10軒程、塩水化で苦しんでいると聞いている。簡易水道のように何人かで井戸を1本掘って、水を使ってもらいたい。町では、10戸以上で井戸を掘るのであれば、100万円の補助が出る制度がある。

座長

基礎調査を東京大学の富永助教授と他大学が行っている。これは、平成12～14年の大きな国の調査である。明日、サンウェルで研究発表を行う。

住民

内水面で井戸を掘られると困る。町はどう考えているのか。

町長

掘るのは地元の納得の上で行うべきである。話し合いをもってもらいたい。

(5) 市町村の広域合併について

座長

市町村合併について話を聞かせて欲しい。

町長

町村合併は大きな問題である。合併は町民の納得の上で行うべきである。現在2市3町で話し合いをしている。検討内容がまとまってくれば広報を通じて皆さんにお知らせしたい。

助役

県が出したパターンの中では、旧下新川地域で合併した方がよいのではないかと考えている。合併すると、職員数の減少で経費が削減できたり、サービスが向上したりするメリットがある。しかし、地元住民の声が行政に届きにくくなるなどのデメリットがある。現在、データーを集めているので皆さんに中間報告をしたい。

(6) 農業公社の設立について

住民

厳しい農業情勢の中で、今後のさらなる発展を目指すには農地の利用集積や担い手の育成、営農組合の組織化を積極的に進めなければならない。また、生産性の高い営農が求められていることから農業公社の設立は不可欠である。町当局の考えを聞かせて欲しい。

大角農業水産課長

9月に農業公社準備委員会を設立した。年度内に結論を出したい。

農業問題についてアンケートを採った結果、当地では5年後10年後の農業を縮小していきたいとのことであった。また、50%の方が担い手を決めていない、またはいないということであった。このような状況の中でどのように担い手を確保していくかが課題だ。農業公社では、農地の斡旋と作業の斡旋をやっていく。皆さんの意見を集約したいので協力してほしい。

住民

昭和30年代は1町の必要経費はまかなえた。しかし、現在はできない。価格保障や補助制度の充実をもっと図るべきではないか。

住民

農業は労働力が全くと言っていいほど評価されていない。もっと評価されるべきではないか。

座長

市場経済の中では難しいと思う。

(7) 学童保育のための設備の確保について

住民（笹原区長）

町の学童保育に対する考えを聞きたい。また、児童室の設備をもう少し立派にし、指導員を入れて欲しい。

町長

学童保育は、子供の減少をくいとめるためにぜひ取り組んでいきたい。若い夫婦が安心して低学年の子供を預けられるような場所を提供していきたいと思っている。できれば、環境改善センターか土地改良センターの部屋を開放したい。

住民

児童厚生員のことも含めて考えているのか。

町長

児童厚生員を入れた予算化も考えているが、ボランティアでもいいのではないかと。今後、土日休みになる。先生のOBなどに協力してもらってはどうか。

(8) その他

住民

県道芦崎小摺戸線から深層水施設までの道路はいつ完成するのか。また、今年の12月に黒部川バイパスが完成し、国道平曽川線が延びてくる。えい川五郎八線まで工事をするとのこと。鉄道以降はどうするのか。

町長

12月10日に開通する四十八ヶ瀬大橋と取水施設をつなぐ道路の設置を県に要望している。また、鉄道をオーバーで通れるように指示している。将来的には、鉄道をわたる3本の道路を作りたい。1つは、上原の道路。2つ目は、横山と櫛山を結ぶ道路である。一番先にとりかかるのは平曽川線だろう。地権者の方には協力を願いたい。

浜田建設課長

取水施設から県道間の用地については、年内か年明けに皆さんと話をしたい。

住民

パチンコダイナム出店について町はどのように考えているのか。

町長

その話は何度か聞いている。町は反対する理由がない。地元の皆さんの話し合いが大切である。

住民

町ではいろいろな事業で高齢者の生きがいを進めてきた。今年度は事業の最終年度と聞いた。新年度も新事業で地域の福祉を進めて行って欲しい。また、地域住民参加型の事業に対する支援・助成をして欲しい。

上原健康福祉課長

社会福祉協議会と新事業について話し合った。町として、財源確保をがんばりたい。

住民

アサヒビールは来るのか。

町長

誘致するために県で会を作っている。もし来れば、深層水を使ってもらう。これからアサヒビールと話し合っていきたい。

閉会

小摺戸地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月22日（木）

午後7時30分～

会 場：小摺戸地区公民館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）農業問題について

住民

入善町は米所であるが、近年土の力が低下してきている。そこで、生ごみを有機肥料とするごみのリサイクル化を促進するとともに、この肥料を使用した特産品の生産・販売に取り組んではどうか。

町長

化学肥料に頼りすぎて、土の力が弱くなっている。そこで今注目されているのは、土からできたものは、土に返すという循環型リサイクルである。家庭から出る生ごみを有機肥料にし、他の地域に負けない特産物を作りたい。また、汚泥を肥料にする施設を作りたい。販売はすぐにできないが、町の花や樹木に使いたい。

福沢住民環境課長

入善町では平成5年から生ごみをリサイクルしている。平成5年から、コンポスト生ごみ処理器を購入する人に補助金を出している。今後も生ごみ処理器に補助金を出すので、協力して欲しい。

住民

肥料や農機具に補助金が出ないのか。特にコンバインは高額のため、年寄りには経済的負担が重すぎる。何とかならないか。

大角農業水産課長

堆肥については、堆肥散布に対する県の助成措置がある。集落まとめてそれを利用するという手段もある。また、コンバインについては、農協がやっているリースを利用してはどうか。農業生産法人ができれば、それらを定額で提供することもできると思う。

住民

汚泥を肥料にするというが、ちゃんと成分を出してから農家に提供して欲しい。

中島下水道課長

法律上、公共下水道の汚泥は産業廃棄物となり、肥料にはできないことになっている。しかし、小摺戸地区の下水道は農林水産省の管轄なので、ある程度肥料化ができることになっている。小摺戸地区の汚泥については、成分を明らかにし、使いやすいものにしていきたい。

(2) JR入善駅前の駐車場について

住民

JR入善駅前及びその周辺には、通勤者用の駐車場が整備されているが、一般用のものがない。一般用の駐車場があれば便利であり、駅の利用者も増えると思うので是非作って欲しい。

町長

商工会の駐車場をできるだけ開放したい。また、前もって商工会に時間を知らせておけば、駐車できるシステムを作りたい。

飛田商工観光課長

駐輪場の東側に15台止められる駐車場がある。しかし、ここはすぐに満杯になるので健康センター跡地と商工会の駐車場を開放したい。駅を利用する人のために管理人に駐車時間を申告すれば駐車できるというシステムを作りたい。駐車場が完備されれば、広報でお知らせしたい。

(3) 小摺戸地区の活性化について

住民

小摺戸地区は、少子高齢化が進み地区としての機能が低下している。このような地区を施策のモデル地区として事業を展開してもらいたい。

その一つとして きめ細やかな除雪をお願いしたい。除雪は通勤時間が間に合うようにして欲しい。また、一人暮らしや高齢者世帯の宅道の除雪をお願いしたい。除雪の組織を作り共同で除雪をしたり、トラクターを使い自分たちで除雪を行ったりする場合の指導もお願いしたい。

町長

小摺戸地区の人口は少子高齢化により少なくなっているが、これ以上少なくなることはないと思う。なぜなら、新幹線の黒部駅に近く、ベッドタウンになる可能性があるからだ。このことを考慮に入れながら、皆さんと話し合っただけで地域づくりをしていきたい。

除雪については、幹線道路はできるだけ早くする。一人暮らしや高齢者宅の宅道を全部やることはできないので、地域が協力し合っただけで欲しい。町も援助する。これはお願いだが、降雪時の路上駐車は除雪ができなくなるのでやめて欲しい。

上原健康福祉課長

入善町の高齢者の一人暮らしは525世帯、2人暮らしは303世帯ある。それぞれの方が冬場は困ると言っている。町では、援護の必要な方には要綱を作り、援助を行っている。昨年度の屋根の雪下ろしは、42件の申請があった。これは一回あたり11,700円である。また宅道は、1シーズン1万円で、30件の申請があった。援助が必要な方にはいつでも相談に応じたい。

浜田建設課長

除雪は、町のすべての業者に頼んである。最高で、43台の機械が出ることになっている。業者には、朝4時から7時の間に終わるように言っている。しかし、脱輪や路上駐車により、除雪が遅れることもある。また、交差点の除雪が悪いとの声があるが、工事用の車なのでうまくできない。宅道の除雪については、小摺戸には小型の除雪機が2台あるので、これを利用して欲しい。

住民

小摺戸下部は、業者（福沢建設、若島建設、森田建設）の高齢化により、除雪が困難になった。代わりに他の業者は来てくれるのか。

浜田建設課長

今年は、福沢建設にお願いしてあるので、今までよりもよくなると思う。

住民

小摺戸地区の活性化のため、以下のことをお願いしたい。

土地改良区の30m上の新屋に向かう道路は、通学路になっているが、狭くて危ない。拡幅整備をして欲しい。

来年4月から学校週5日制が始まり、土、日曜日の活用が問題になってくる。そこで、子どもたちが活動できる児童生活館というものを設置して欲しい。黒東小学校の前のコミュニティセンターを活用するという方法もあるが、活用するには狭いのではないかと思う。そこで、地区の公民館をサブセンターとして活用できないか。また、土地改良区の事務所の活用が決まっていなければ、ここの活用も考えて欲しい。

北陸新幹線工事用道路等を利用した公共用道路を建設するという話があった。地元としては、地区を横断する道路ができれば大変ありがたいことである。しかし、国や県の財政を見ると困難なことだと思う。また、絶対になくっては困るというわけでもない道路を作ることに對しては、やりづらい面があると思う。このような問題に對して、これまで町が取り組んできた状況とこれからの見込みについて教えてもらいたい。

町長

については、南部コミュニティセンターと小摺戸地区公民館を開放し、児童が安心して遊べる場を提供していきたい。土地改良区の事務所は、舟川貯水池の事務所と

して使用したい。

については、側道のことかと思う。町の方では、側道を第2次スーパー農道として認可してもらうように、2市3町で県にお願いしている。平成15年に認可されれば、平成16年に工事が開始されると思う。地元の方の協力を願いたい。

浜田建設課長

について。公民館の上から新屋の中坪に向かう道路の拡幅計画は、平成2年の幹線道路網整備計画の中にあった。しかし、これについての内々の会合で反対意見が出たので、断ち切れになった。もし、地権者が協力してくれるのであれば考えたい。町では拡幅は、ある程度の交通量がある、除雪車が不便をしているところを主に進めている。あの道路はこれに該当する。ただ、道路幅は6～7m確保したいので、地権者の協力が必要となる。もし、整備されることになっても、行政の財政が苦しいので、これまでよりも窮屈な道路整備になるだろう。

について。昨年8月、2市3町で、側道を農道として認可してもらうよう県知事に要望した。今年の6月には、広域農道推進協議会の総会で側道を広域農道に利用しようとした。現在は、平成15年に新規に国の補助事業になるように事務手続きを進めている。しかし、黒部川に架ける橋が90億円かかるという問題がある。既存の橋を利用できないかという話もあるが、県の方では橋も含めて工事を進めていきたいと考えている。今年は国土交通省と協力して行い、来年は農林水産省の方にこの計画を挙げるという段取りだ。

教育長

について。週休5日制の意義は、子どもたちが家庭や地域の人とふれあい、様々な体験を通して豊かな心を作ることにある。土日が休みになったから子供を預かって欲しいというのではなく、家庭や地域が協力して豊かな心を育てて欲しいと思う。そのためにも、公民館活動など指導者を付けてスポーツや様々な体験をやらせることも考えている。また、共働きの家の児童に対しては、児童館などで子供の世話をしたいと思う。子どもを預かる側は、子どもの行き帰りなど責任を持ってやらなくてはならないので、地域の方の協力が不可欠である。

住民

児童生活館という風に「生活」という言葉を入れたのは、子どもだけではなく地域の人や高齢者の人もふれあう機会をもって欲しいからである。

教育長

私も児童館は生活の場だと考えている。学校とねらいは違う。言われたことを地域の方にも理解していただき、協力してもらいたい。

住民

体育館の前の道路計画について教えて欲しい。

浜田建設課長

元々の計画は、上田の県道の交差点から上野3区の県道の交差点までの1,200mだった。しかし、公安委員会から交差点が急に狭くなると危険であるとの意見が出たので、西に100mほど延長した。さらに西に延ばすとなると、町だけではできないので国、県の補助金が必要となってくる。しかし、財政難のため補助金が見つらず、延長はいつできるか分からない。将来的には広げていきたいと考えている。

(フリートーカー)

住民

福島地区で陸砂利をやっている。そこを埋める土によって地下水が汚染されないか心配である。町で、水質検査をして欲しい。

先日、入善建設業協会がアイシン新和の跡地に1市3町の建設残土を置かせて欲しいと言ってきた。個人的というか、福島地区が敷地を使わせてほしいと申し入れたところ、既に、入善建設業協会がアイシン新和の跡地を利用するという、契約書が昭和46、47年頃にあったという。これについて、町に問い合わせたところ、そのような契約書は知らないとの返事が返ってきた。一体どうなっているのか。

大角農業水産課長

陸砂利に対して、地下水にどのような影響があるかということについて。簡易水道の方でいろんな検査項目があり、年1回検査を奨励している。水質調査ができるシステムになっている。

アイシン新和の用地について、建設業協会が他の地区において、農地を使用したいとの申し出があったと聞いている。その時にアイシンの方にもその話があったと聞いている。昭和46、47年頃、どのような経過があったか分からないので、調べたいと思う。

住民

契約書が古いから知らない、というのでは困る。取り返しがつかないことが起きてからでは、遅い。公約書の管理をしっかりとって欲しい。

アイシン新和の用地については、境界線が不鮮明なのではっきりとさせて欲しい。また、何か積んであるので約束通り年内に撤去するよう、町からも言って欲しい。

町長

入善町は、企業誘致に力を入れている。企業に紹介する土地の一つとして、アイシン新和の跡地をあげている。企業が来た場合には、町が責任を持って住民の生活環境を守りたいと思う。地元の方には迷惑をかけるかもしれないが、協力をお願いしたい。

水質検査についてだが、検査は県が毎年一回、下流で行っている。笹原、目川、下飯野地区でカドミウムやヒ素など35項目にわたって、モニタリング調査を行っている。今後もやっていきたい。

住民

アイシン新和の跡地利用についてだが、昭和48年に町とアイシン新和との間に協定書が入り、福島地区の振興会長が立会人ということになっている。入善建設工業会と問題が起きるのは、地元は何の相談もなく町独断で公約書を交わしたからではないか。

町長

アイシン新和の用地の活用は、地元住民の同意があってこそ成り立つものだと考えている。

住民

寺林建設の前の十字路に信号をつけて欲しい。

本多総務課長

信号の設置は、入善警察署の公安委員会がすることになっている。町からも設置をお願いしに行く。

閉会

新屋地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年12月4日（火）

午後7時30分～

会 場：新屋地区公民館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）町道除雪路線の拡幅改良について

住民

地区内の道路で、過去、新屋土地改良区が非補助事業でアスファルトを施工した農道が、現在では一般生活道路ということで町道に格上げされている。しかし、幅が5.5mの内で盛土をして道路を造った経緯もあり、左右の田面との高さが狭い道路もあり、舗装幅員が3mあまりの道路もある。

近年の除雪機械の大型化に伴い、冬場の除雪では運転手が大変な恐怖を感じながら除雪をしているのが実態である。そこで、道路改良に合わせ、幅員の拡張をお願いしたい。

町長

道が狭く、冬は脱輪するなど迷惑をかけている。交通量あるいは、危険性を見極めながら、順に整備していく。

浜田建設課長

舗装の単価は安いですが、拡幅は高いのでなかなか町全体の整備は進まない。除雪路線で交通量が多いところから整備していく。新屋地区の要望に応えられるように努力したい。

住民

私の地区では、路肩にL字ブロックを配置し作ることにより拡幅している場所もあるが、そのようなやり方はいかがか。

浜田建設課長

今おっしゃったのは、中坪公民館前の道路のことだと思う。農道、町道を直すとなるとL字では高つく。農道を整備する計画はないが、路肩が崩れるようになったら考えたい。

住民

拡幅についてどのように町民に周知させていくかが、今後の課題である。

住民

保育所の横の消雪装置が作動していない。管轄はどこか。

浜田建設課長

そこは町の管轄から外れているかもしれない。確認して区長に伝える。

住民

用水に蓋がかぶっているため雪が積もる。毎年除雪をお願いしている。除雪路線へ組み入れていただきたい。

浜田建設課長

除雪は、町民の足を確保するために行っている。防火上の理由からは除雪をしていない。

住民

防火上のことも検討していただきたい。

住民

島地区中央道路について。消雪道路は10年ほど経過している。水を流すことを当番制としてやっている。下水道工事があり、水の流れが悪い。除雪をしていただけないか。

浜田建設課長

わかった。もりかけは、経済的に困難なので様子を見ながら対応したい。

(2) 発電所美術館・県指定天然記念物「下山八幡社」周辺の環境整備について

住民

発電所美術館の年間入館者数は、1万人である。設置から6年経過したが、真に町民のものとして投資効果が発揮されているのか。

利用者が一過するだけでなく、もう少し滞留できる施設として周辺を含めて将来計画を整備検討してほしい。

住民

八幡社の東側に給排水溝があり、田との落差がある。過去に東側の側溝にグレーチングを設けて欲しいと要望したが、経済的に困難とのことだった。駐車場に車止めの設置をお願いしたい。また、現在下山地区では下水道工事の最中だが、敷地内に下水道管の配備とトイレの改修をお願いしたい。

町長

車止めについては、現地を見て対応したい。

トイレの整備については、下水供用は平成15年からなので、まずは仮設のトイレの設置を考えたい。下水道が繋がれば、水洗トイレの設置を考える。

住民

下山芸術の森の周辺についてだが、美術館の上の方に芝や桜を植え、子供や家族が楽しめるような施設を作ってはどうか。

道見坂周辺には様々な木や植物がたくさんある。しかし、草が生えたり、木が倒れたりしている。金をかけずに整備できないか。

町長

地元の方と話して、人が集うようなものにしたい。

教育長

美術館に対する投資効果について質問があったが、数字的には表せないものがある。美術館は、入善町の文化の発信地としての役割を持っているということも理解して欲しい。

(フリートーキング)

住民

入善駅にある駐車場は6時間しか止められない。富山駅のように無料駐車場があれば、入善駅の利用率の向上になるのではないか。

最近は夜間の治安が悪くなっており、警察の検挙率が下がっている。学生が夜間でも安全に帰れるよう、のらんマイカーを運行して欲しい。

成人式を若者の帰省中にできないのか。

町長

駅利用者の駐車場の確保について力を入れていきたい。商工会や旧健康センターの前を駐車場にしたいと考えている。もしそうなれば、駐車できる期間や時間を決めたい。

のらんマイカーは年寄りのために運行しているが、多くの人が利用できるように時間帯を考えていきたい。

成人式の日程は、3連休になるように法改正された。これからは、3連休のうちいつにするかを皆さんと話し合っ決めていきたい。

住民

私が、墓ノ木自然公園利用委員会にいた頃、かっぱ橋を渡った第三キャンプ場は整備しないとのことだったが、なぜ整地したのか。委員会の了解を得るべきである。ま

た、遊歩道で通れないところがある。更地にする金があるのなら、遊歩道の整備に使えばいいのではないか。

浜田建設課長

第三キャンプ場については、設計以外の工事をした。

遊歩道は、14年度の工事でやりたい。

住民

南部コミュニティセンター近くにリサイクルセンターを作っていただけないか。

福沢住民環境課長

ゴミは確かに増えている。リサイクル広場は、入善町を三角定規とみて、その山の方に作る予定である。常設型のものを作る。

住民

下水道工事についてだが、幅員が採れない場合、田の所有者の迷惑にならないような工法を考えて欲しい。

中島下水道課長

排水管を避けた工法をとっているが、困難もある。迷惑にならないように進めたい。

住民

供用開始になると、一戸1,900円に1人あたり500円が加算される。赤ちゃんも500円というのはどうかと思う。就学前は無料にならないのか。

中島下水道課長

今の段階では考えていない。

住民

権蔵橋と新川橋の間にグラウンドがある。そこの除草や整備が大変である。管理がしやすくなるように建設省へお願いしてもらえないか。

浜田建設課長

そのグラウンドは町が国土交通省から占有しているものである。管理は占有者がやることになっている。管理ができなければ、占有自体が取り消しになる。対岸の黒部市にもお願いするが、浦山新の方も協力していただきたい。

住民

提案だが、町の職員がお茶を出すとき、「深層水のお茶です」といえば、PRになるのではないか。

住民

総合計画の中にある生命産業法人の設立はどうなっているのか。

大角農業水産課長

農業公社の設立については来年の3月末までに結論を出したい。

住民

広域行政の推進の取り組みはどうなっているのか。

町長

合併のことかと思う。合併については、2市3町で助役レベルの中間報告が出来上がった。それには、職員数や金額についてのデータが載っている。12月6日には、大まかな案が発表される。皆さんには、パンフレットのものを配布し、お知らせしたい。合併については、皆さんの意見を尊重しながら進めたいと思う。

閉会

梶山地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月26日(月)
午後7時30分～

会 場：梶山地区公民館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

(1) 梶山地区周辺の道路計画について

住民

桃李小学校周辺の道路の整備についてだが、古黒部へ向かう通学路、梶山新のガードのところ、鍋谷運輸からコスモにつながる道路の交通が激しいことについて、町当局はどう考えているのか。

町長

古黒部に向かう道(JRの南側)については、道が狭い、人が通らない、除雪が困難といった問題がある。町としては、出来るだけ除雪を行うが、冬期は旧国道を通った方がよいと思う。また、時間帯による通行規制も考えている。

道路拡張は、地権者の同意がないと出来ないので、皆さんの協力が必要となる。

ガード横のグレーチングについては、来年には蓋をしたい。

コスモの道も地権者が協力してくれればすぐにでもやる。

浜田建設課長

桃李小学校周辺の道路整備の話は前々から出ている。整備するとなると2km近くで億単位の費用がかかり、国の補助もないのでなかなか難しい。地権者の理解があれば田ノ又のところなど少しずつ直していきたい。

コスモへつながる道は、現在、地権者と話をしている。今すぐにとはいかないが、順々に進めていきたい。

JRのガード下のところについては、来年の6月までに東側の暗渠化をしていきたい。ただ、道路全体はJRとの距離からして難しい。以前、JRと話をしたとき、難問題が出てきたので県の方でも難しいとのこと。

(2) 下水道工事の進行状況について

住民

梶山の下水道工事はいつになるのか。

町長

梶山は、平成18年度までに8号とJR下を予定している。公民館周辺、保育所、

交流センターは、仕上がるまでには下水道を完備したい。

中島下水道課長

梶山は公共下水道関連としてやっている。国の採択を受けている地区は、平成18年度までに終わる予定である。それ以外の地区は平成18年度以降になる。来年の2月までには入中～警察官舎～保育所のところを完成させたい。来年度から15年度にかけてJR下側の梶山新、田ノ又を行う。将来的には、浄化センター周辺、市街地を中心に進めていく。

(3) 市町村合併について町の方針はどうか

住民

市町村合併について、町のことを聞かせていただきたい。

町長

国の方針は、平成17年3月を目途に合併とのこと。入善町は、2市3町で助役を筆頭に話し合っている。今後、合併について広報等で皆さんにお知らせしたい。

(4) 働く場所の確保について

住民

企業誘致並びに深層水の活用はどのようになっているのか。

町長

総合計画でも企業誘致をやろうとがんばっている。先日も東京で入善町のことを宣伝してきた。

深層水について、様々な企業から話が来ている。企業誘致をして雇用の確保をしていきたい。

飛田商工観光課長

企業誘致に走っているが、世の中不況で厳しい。単純製造業はアジアに動いた。今は、第3次産業に目を向けなければならない。現在、入善町は、通販の取り次ぎを行っている会社の誘致を進めている。

(5) 農業公社の計画について

住民

農業公社の計画はどうなっているのか。

町長

今年の9月に生命産業法人の設立検討委員会を立ち上げた。平成14年度中には法人を立ち上げたい。

住民

現在、とも補償をやっているが、いらぬのではないか。また、所得の補助としてはもはや意味がないのではないか。

大角農業水産課長

国の政策で、見直しが進められ今議論されており、その動向を見守りたい。

(6) のらんマイカーについて

住民

のらんマイカーについてだが、試験的に行われている田ノ又、荒又の方を本格的に運行して欲しい。また、ふれあい温泉の停車時間を延ばして欲しい。

町長

2台目を3か月間走らせたところ、乗車率が低かった。皆さんと話し合って利用しやすいのらんマイカーにしていきたい。

飛田商工観光課長

きめ細かく運行できないか、3ヶ月間実験した。栲山新～田ノ又～荒又線においては5人しか乗らなかった。栲山に限らず、各地区から要望が出ている。どのルートがいいか、皆さんの意見を聞いて決めたい。また、ふれあい温泉については、運行ルートの長さなどから難しい。

(7) 老人対策について

住民

公民館を開放し、老人の憩いの場所にしてはどうか。

町長

シルバーハウジングや公民館の開放、一つの民家へ気軽に集まれるようにしたい。

上原健康福祉課長

新しい施設を建てるより、既存の施設を活用して欲しい。また、自治公民館も利用してほしい。

住民

託老所の管理や指導員の配置など、どのように考えているのか。

上原健康福祉課長

託老所ではなく託老所的な施設という考えである。指導員の配置は考えていない。

(8) 法務局跡地の開発について

住民

法務局跡地の活用について知りたい。

町長

町も跡地利用について調査したが、使えないとのこと。取り壊し費用も高い。もし、国から申し出があれば買い取りも考えたい。

(9) 温水プールを作ってもらえないか

住民

温水プールを作ってもらえないか。

町長

深層水の活用と合わせて考えたい。

(フリートーカー)

住民

栲山保育所の南側、桜台方面の道路は通学路となっているが、朝夕の交通量が多く危ない。歩道などを作り、通学路の安全を確保していただきたい。

町長

道路については検討していく。子供達の安全のため、まずは実態を調査したい。

住民

交流センターができた後の公民館の利用についてどう考えているか。

町長

土地改良の合併もあり、公民館の必要性を住民の方と話し合っていきたい。

住民

幅 1 m の用水があるが、防火用水の機能があるため、いつも水が多い。雪が降るとざいがついて近隣家の庭に浸水する。ざいがつかない方法を教えてもらいたい。また、他の地区の状況も聞きたい。

浜田建設課長

自然降雪によるざいについては、話を聞かせてもらいたい。

住民

交流センターの児童館に指導者のような世話役は配置されるのか。

教育長

地区で児童クラブのようなボランティアをお願いできないか。どうしても世話して欲しいというのであれば考える。

住民

補助金、助成が軒並みに削減されている。削減されたお金はどこに行くのか。

助役

各種団体の補助金を一律下げた経緯はある。繰越金の増加や近隣との比較などを考慮し、削減した。

住民

町からJRに土手の草を刈るように言って欲しい。

町長

町から言う。

住民

入善町活性化協議会は普段JRを利用しない人で構成されている。通学者、通勤者を入れるべきだ。

飛田商工観光課長

活性化協議会には通勤者も入っている。

住民

通勤者の生の声を反映して欲しい。

福沢住民環境課長

昨年11月6日に話した再生広場を桃李小学校のプールの東側に建築中である。12月下旬に完成するので、ビン、缶などをリサイクルする場として利用して欲しい。

閉会

横山地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月15日(木)
午後7時30分～
会 場：横山漁村センター

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

(1) 通学路の安全確保と拡張整備促進

住民

古黒部から桃李小学校への通学路の整備計画はあるのか。

J R 北陸線南側の農道古黒部栲山新線間での整備促進の見通しはあるのか。

横山、八幡、一部春日地区の児童の通学路として町道横山栲山新線の拡幅整備は重要である。また、生活道路としても不可欠である。片側歩道の整備、栲山新交差点やJ R ガード下の早期改良及び東側側溝に蓋(グレーチング)がないので自動車が交互すると特に危険である。設置をお願いしたい。

八幡、横山の一部児童が登下校の際、通勤車が多いために危険である。すでに松風団地南側の片側歩道は設置済みであり、その東側農免道路の横山栲山新線交差点まで延長して片側歩道の整備促進を要望する。

町長

通学路の安全は確保したい。しかし、道を広げるだけでは不都合な点もある。J R の南側は安心して通れる道だと思うが、家が少ないので不審者の心配もある。雪が多くなれば、旧国道を通る方が安全だと思う。道の拡幅については十分に話し合ってから決めたい。

ガード柵については、早急に直す。ガード下のグレーチングは、県で予算化してもらった。遅くとも来年の5、6月頃までには出来ると思う。

浜田建設課長

J R 南側道路の問題は毎回出ている。古黒部から桃李小学校まで距離がないので、拡幅するという事業は見当たらない。今後ますます、補助事業が難しくなるだろう。危険のある場所から調査し、協議したい。

農免道路に歩道を設けることや道路の拡幅は難しい。過去に拡幅を計画したが、家屋を10軒、作業所を入れて20軒の移転が必要となり、すぐに出来るものではないと考え消雪装置を設置することにした。

(2) 入善町漁村センター関係

住民

東側河川の方面が崩れ、自転車小屋が危険である。石積みと張ブロック等で早期改修が必要と思われる。また、自然環境に合った川づくりを望む。

町長

石積み、張ブロックでの改修は早急にやりたい。

住民

長年の風雨により南側敷地内の土砂が流れ低くなっている。土盛りして早期舗装が必要である。

町長

土砂を持ってくるので、地域の方で撒いて欲しい。

住民

漁村センターは2階建てである。お年寄りのために2階にもトイレを設置してもらいたい。また、舟小屋内の用具等が損傷し、壊れて環境美化から見てもよくない。補修して欲しい。

町長

舟小屋はまだ見ていないが、町以外のものを片付けて見栄えをよくしたい。

住民

漁村センターの敷地を利用して、児童館を設置できないか。

町長

事務所の横の空き部屋を児童館にしてはどうか。

(3) 横山保育所

住民

保育所南側広場上のゲートボール場をプール跡地に移転し、保育所の広場を拡張したらよいのではないか。

町長

保育所の広場は今ので充分だ。ゲートボール場は段差があり、広くすると保育士の目が届かなくなるのではないか。別のもので運動の場として利用していただきたい。

(4) サン・ビレッジ入善の関係

住民

プール敷地内の建物は、団体組織の用具庫に有効使用したい。また、プール敷地は、スポーツ練習場として有効活用したい。また、付近の雑草の種が飛んできて、グラウンドに草が多く生えてきているので、早期整備が必要と思われる。

町長

プールは、再来年あたりに壊す。跡地利用については、地元の方と話し合っ

住民

西側道路（青島用水東側道路）の舗装整備を望む。

町内外の利用者から、農免道路・グラウンド入口間の町道は狭いため、農作業で通行不便の苦情意見が多々あり、道路拡幅の要望が強い。また、一部農業従事者からも同じ考えの申し出がある。どうにかならないか。

町長

上からくる道は、あまり車が通らない。田んぼの方とのトラブルだけで拡幅するのは難しい。

浜田建設課長

サン・ビレッジの南側の舗装については、生活道路として支障があるところはしてある。今後、危険性、緊急性があるところからやりたい。

(フリートーカー)

住民

県道の入川橋の交差点が急カーブで曲がりにくい。冬場、通勤ラッシュ時の凍結が危ない。カーブを緩めて欲しい。

浜田建設課長

10月26日に松田議員と入善土木が視察した。来年、改良したい。

住民

通学路について、PTAとして7年間請願書を出しているが、改良されない。町はこれで大丈夫と思っているのか。

住民

小学校統合の第一条件として、通学路の安全確保をあげていた。教育長交代時の引き継ぎはどうなっているのか。また、教育委員会は通学路を指定したが、問題が出て

きている。どういうつもりで指定したのか。

教育長

通学路に問題があると聞いている。これについては、町当局と相談しながら、改善されるようお願いしていきたい。

町長

通学路については、皆さんと話し合っ決めてたい。古黒部から櫛山新線は普段は車が通らないからいいが、冬場はかえって安全ではない。逆を言えば、安全なのは旧国道だと思う。一番よい方法を考えていきたい。

住民

松風団地の上に新しい通学道路を作ればよいのではないか。

町長

鉄道をわたる道路を町では3本考えているが、通学道路ではない。ガード下の道の拡幅は不可能である。通学路については、冬場と夏場でどの道が一番安全かを考えていきたい。道路の拡幅ばかりだけでなく、車を時間帯で止めるなど方法を考えたい。

住民

本当に通学路が危ないと思っているか。

教育長

危険性の基準が難しい。危険な箇所については、関係課と相談し、安全確保をしていきたい。

住民

ガード下はすぐにグレーチングをして欲しい。

浜田建設課長

通学路については、年内に住民の方々と当局との話し合いの場を設ける。

司会

地区ごとに問題提起して欲しい。

住民（八幡地区）

防災訓練をしたが、災害時に逃げる道が無いので、縦に道路を作って欲しい。防潮林が必要である。また、波が高いので、沖にもう一基、副堤を入れて欲しい。一箇所も蓋がしていないので副堤に蓋をして欲しい。

浜田建設課長

縦の道の拡張は、2箇所考えられるが、今日聞いたので検討したい。横の道については、地権者の同意を得た。一部拡張し、今年度中に交差点を改良する。

防潮林については、青木の目川地区の方で進めている。県が出来ると言うのなら、地元と協議していきたい。

離岸堤の設置については、青木地区や住宅密集地区にはまだ無いので、そこが優先される。皆さんの意見が分かったので、国土交通省に要望していく。また、八幡は蓋が無い箇所が多いので、国土交通省に要望する。

住民（横山地区）

横山公園の滑り台とブランコが傷んでいるので修理、新設して欲しい。

横山海岸でキャンプするときの水飲み場とトイレが欲しい。

漁村センターの男性の部屋が狭いので広くして欲しい。

浜田建設課長

横山公園の遊具については、老朽化し危険であれば、更新または補修する。ただ、公園を新設するとなると、用地が必要となるので、難しいと思う。

海岸のトイレ、水飲み場については、関係課と協議したい。

住民（春日地区）

春日地区の公共下水道の実施期間はいつか。

町長

測量・設計は今年度末には終えたい。14年度から春日地区に入り、2年ぐらいでやっていきたい。しかし、認可区域であるJRの海側の一部は除く。

住民

下水道料金はいくらか。

町長

1軒あたり1,900円の基本料金に人数1人あたり500円を加算する。当分はこの料金でいくつもりだ。

住民（藤原地区）

県道朝日君島線と海岸へ下る道路の拡幅をして欲しい。

浜田建設課長

藤原春日間の道路は、4mから5mに拡幅した。他の道路から見ると交通量が少ないので充分だと思う。

住民（古黒部地区）

広川建設から下る道路が狭く、坂道なので、冬場スリップする。消雪装置を付け、排水に蓋をして欲しい。

浜田建設課長

舟川新からの道路拡張計画がある。県から、南側と合わせて、拡幅と坂の改修をしたいとの要望がある。これから検討していきたい。

（その他の質問）

住民

町の盆踊りをアレンジして流行らせられないか。よさこいソーランやよさこい麦屋をして若者を集めてはどうか。また、町の七夕まつりで各地区のみこしを競い合わせたり、獅子舞コンクールを試してみたりしてはどうか。

町長

盆踊り普及のために町で音頭や踊りを教えているが、アレンジはまだしていない。町でも、提案してもらったようなコンクールをしていきたいと思う。

住民

防災無線が風向きで聞こえない。場所を変えて聞こえるようにして欲しい。

町長

防災無線はどこに移しても風向きで聞こえないところがでてくるし、そばにいる人はやかましい。町から1万円補助しているので、戸別受信機を入れてもらいたい。

助役

防災無線は国の補助事業で、海難事故のために海岸縁にあることもわかってほしい。

住民

漁村センターは、金曜日はやっているが風呂は休みである。金曜日でも風呂をやって欲しい。

区長

浴場組合から休みを多くして欲しいと言われ、金曜日が休みになったと聞いている。

閉会

舟見地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年12月3日（月）
午後7時30分～

会 場：舟見コミュニティ公民館

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）舟見保育所の改築について

住民

保育所の老朽化について前年も指摘したが、改善されていない。築30年が経ち、全体的に傷みが激しい。先日、地区会長と共に保育所を見学した。特に気になった箇所は以下の通りである。まず、入口のポーチが汚く狭い。廊下床板がささくれて、隙間があり、歩くと浮き沈みする。天井が汚れている。サッシに隙間があり、寒い。遊戯室の外壁の傷みがひどい。といったものである。全体的に傷んでおり、新築しかないと思う。早急に対応をしてほしい。

町長

舟見保育所は昭和47年に建てられ、29年経過している。私も見たが、老朽化が激しい。どのように整備をしていくかを新しい総合計画で検討している。16年度には調査に入りたい。すきま風や床のささくれ等は早急に対応する。

住民

場所は、旧小学校跡地がよいのではないか。

住民

ネズミが出るので昼寝もできない。保護者が預けたくなくなり、人口減の原因にもなっている。早急な対応をして欲しい。

（2）学校週5日制における子育てについて

住民

来年から学校週5日制が実施される。子どもたちの「生きる力」を育むためには、家庭や地域での豊かな経験が必要である。そのため、地域の人々の経験・体験を伝えるボランティアの育成が必要である。市町村が積極的に対応する施策はないのか。

教育長

学校週5日制のねらいは、ゆとりの中で生きる力を育むことである。家庭、地域、学校が連携して子育てをしていかななくてはならない。週休2日制になったからといっ

て、子供を預けるのではなく、どう子供と過ごすかを保護者に考えてもらいたい。しかし、核家族で仕事があり子供とあまり過ごせないという場合も考えられるので、町としても対応しなければならない。その策として、各公民館に児童室を設置し、土曜日は指導員を置き、子供の面倒をみてもらうことを考えている。これはあくまで、人とのふれあいが目的である。土曜日以外は、ボランティアや学習リーダーを募集する予定である。

住民

夏休み、毎日公民館に5～6人の子供が遊びに来る。また、土、日も職員がいないのに来ている。その子どもたちが1人でも2人でも悪いことをしてはだめだ。県知事は、子供の教育は将来に対する財産投資だ、と言っている。公民館に、ボランティアでもいいから人がいないとだめだ。人が常にいるように、役場で頼んで欲しい。子どもたちの遊び場を最低限確保して欲しい。

座長

当局にボランティアの活用等を考慮して、全体的な流れを見てもらい、対応してもらいたい。

(3) 地鉄バス新屋線が廃止された場合のすずらん作業所への通所問題

住民

地鉄バス新屋線が廃止されると聞いているが、その場合、すずらん作業所への通所をどうするのか。

商工観光課(愛場)

国の財政が厳しく補助金がカットされている。赤字路線は切り捨てられているのが現実である。新屋線が廃止されるか、地鉄サイドに聞いたところ、廃止の予定はないと言っていた。しかし、来年の2月に道路運送法が改正されるので、もし地鉄が2月に廃止すると言えば、その6か月後の8月に許可されて廃止されることもある。ただし、県の方でも急に廃止するとなると公共交通の面でも問題が出るので、県の公共交通対策委員会で1年前に申請してくれと言っている。しかし、法律が改正されれば、廃止される場合があるので、町の方で情報をしっかり入れながら、対応していきたい。もし、廃止されれば、のらんマイカーを視野に入れ、考えたい。

座長

地鉄の動向が気になるが、情報の先取りをして、当局に対応してもらいたい。

(4) 市町村合併～山沿いにおける情報提供

住民

合併に関して、現在の状況はどうなっているのか。また、合併されると中心部が変

わり、人口の流出が考えられるが、山沿いの位置づけはどうなってくるのか。

本多総務課長

2市3町で合併研究会が6月に行われた。5日に打ち合わせをし、中間報告する。また3月には最終報告がある。中間報告では、深くつっこんでいない。スケールメリットや数値が中心である。環境問題、地域問題までは考えていない。中間報告は土台である。これをもとに議論していくことになる。最終判断は、町民にある。年の暮れあたりにパンフレットができ、家庭に配布される。

住民

町民が主軸の合併論をお願いしたい。

町長

区長と同じ考えである。情報提供は町、決めるのは町民である。5日に話し合ったことを、広報等で伝えたい。

2市3町が合併するメリット、デメリットがある。金や数値で計れない問題もある。しかし、今はまだ、踏み込んだ話はしていない。

座長

有形のメリット、デメリットしか言っていないが、無形のものもある。最終報告後、懇談会を開き、合併について話し合いたい。

(フリートーキング)

住民

舟川ダム の経過を教えて欲しい。

町長

今年、貯水池周辺を地質調査した。現在、左右岸と橋の調査をしている。来年は今年の調査を踏まえ、設計に入ると聞いている。付け替えと林道を測量したら、用地の測量に入り、用地買収の問題が出てくる。その時は、地権者に協力をお願いしたい。町としても、早期に本体工事をしてほしいので、8月24日に舟川生活貯水池建設促進規制同盟を下新川3町で作った。同月の30日に国土交通省整備局に働きかけ、11月23日に国土交通省に行った。11月22日には県の方へも早期工事着工をお願いしに行った。できるだけ早くダムを作ってもらえるようにこれからも働きかけたい。

座長

6月に舟見で説明会があった。その時、工事の車がどこを通るか分からないので子どもたちが危ないとの心配の声があがった。8月頃、路線がはっきりするという話だ

ったが、全く報告がない。県・国の計画からどのルートになったのか分かれば、すぐに知らせて欲しい。

浜田建設課長

工事の車のルートについてだが、舟見の市街地は外したい。県の方もこれについて苦慮し、はっきり決まっていない。しばらく待って欲しい。県営道路から舟見リゾート西線の200mを仮設道路にするとの構想があるが、未定である。

座長

交通量が多くなり、危険性が高い。早くルートを決めて欲しい。

住民

県道の交通規制が厳しいため、ふれあい温泉へは、一般農道から愛本保育所を廻らなければならない。道を聞かれても説明に困る。また、標識を見てもバーデン明日に行けないという話も聞く。舟見リゾート西線までの200mほどの区間を整備して欲しい。

住民

防火用水が欲しい。融雪時、水不足になる。

住民

愛本新用水から融雪用の水を採っている。取水すると、そこから500～600mの所の水が出なくなる。そこで、谷江の水を下へ流すようにしているが、充分でない。散水の電気代も大きくなる。どうにかして欲しい。

町長

貯水池は皆さんと話し合い、計画的に進めていきたい。町では毎年、水のあるところは、打ち込み式で消火栓を作っている。水のないところは、ポンプを作ってやっている。これから、舟見地区についても考えていきたい。

住民

上水道で水の確保ができるようになれば、消火栓の数を増やすことはできるのか。

下水道課（小森）

消火栓の数は何メートルに一個というふうに決まっているので、それに添うように設置してある。

住民

東裏線沿いだけ、水が流れていない。そこに消火栓を2つほど設置して欲しい。

下水道課（小森）
検討してみる。

座長
消火栓の数は決まっているというが、舟見はそれでいいのかを見直して欲しい。

住民
消雪工事について。東裏線の末端、5区と6区の境から小森製材所までの約300mのところの水の出が悪い。過去に5、6区の境を破壊工事したところ、パイプに手袋と工具が詰まっていた。それより、100m下がった所にも詰まっているのではないかと懸念している。このことについて、役場へ申し出しているが、どうなっているのか。

浜田建設課長
東裏線の水の出が悪いという話は聞いている。冬期、水が出ないので除雪車で対応した。先端と分岐点に手袋と工具が詰まっているということだったので、再度調べたい。

住民
水でないところ250～260mのところの配管の径が、50cmになっていた。他は60cmである。

住民
末端の配管の径が細いのは常だろう。下流で水が出ないのは、詰まっている可能性がある。

住民
今後の入善町の情報化の進展、情報インフラ整備の方針はどのようなものか。
県内で入善町と立山町だけが学校給食で牛肉を使っているが、その理由を聞かせて欲しい。

大木企画広報課長
CATVを使った光ファイバーの整備を魚津市、黒部市と下新川の3町で検討中である。魚津市はすでに整備済みなので、1市3町で進める方針である。早ければ、15年度中に、遅くとも16年度中に全域に光ファイバーを整備することになるだろう。そうなると、町と山の手地域との情報格差はなくなってくると思う。

教育長

狂牛病の発病のニュースが出た段階で、給食に出すのを一度取りやめた。しかし、その後県の給食委員会等で安全確認したところ、十分に安全だということが分かった。学校給食は、県と打ち合わせをして、安全のもとでおこなっている。献立は町が考えているので、他の地域との使用回数には違いがある。現在の段階では、安心して食べていただきたい。

住民

上水道の工事中、大雪の場合の除雪はどうするのか。

下水道課（小森）

降雪の場合は工事を中止したい。

住民

施設に入っておられる方の数と在宅介護の方の数を知りたい。施設に入る場合は、在宅介護の人しか入れられないのか。また、入るためには申し込みをしておかなければならないのか。制度の説明をして欲しい。

上原健康福祉課長

平成12年の数値だが、寝たきりは73名、痴呆209名、虚弱者225名、合計507名いる。施設での介護の数と在宅介護の数は把握していない。

施設に入るには、特養の場合は介護度が1～5で入所が可能である。要支援の場合には、介護度が無いが、介護認定審査会で審査し介護量を決定する。

特養の場合のみ介護度が必要である。こぶしの庭は介護度が無くても入れる。介護度がない場合は、私費で入らなければならない。

在宅の方の中で、申し込みをしたが空きが無く待機している人がいる。おあしすでは40人が待っている。できる限り健康で、家庭で生活できるような取り組みをしていきたい。また、様々なケースに対応していきたいので、相談して欲しい。介護についてさらに詳しく知りたい方は、在宅介護支援センターに相談しに行ってください。それは、寿楽苑とおあしすにある。

区長住民

熊坂トンネルを通行止めにしたが、人が通り、危険である。どうにかならないか。舟見山の発展を総合計画で位置づけていたにもかかわらず、大型遊具が撤去された。町は、何を考えているのか。

町長

熊坂トンネルの人の出入りを止めるよう早急に対応する。

舟見山の大型遊具は、危険だったので撤去した。遊具については、前回ほど立派な

ものにならないが、どのようなものにするかを皆さんと話し合いながら決めたい。

住民

冬期間の川水による消雪は、水たまりができる。何とかならないか。また、県道のグレーチングを取り替えて欲しい。

浜田建設課長

川水は融雪力が少ない。踏んで消すことが基本である。交通量の少ないところでは、仕方がないことかと思う。

県道のグレーチングについては、早急に取り替えてもらえるよう、県に要望したい。

閉会

野中地区まちづくり懇談会

日 時：平成13年11月2日（金）
午後7時30分～

会 場：農村婦人の家

1. あいさつ
2. 町長あいさつ
3. 懇談会

（1）農業について

区長会長

現在の農業は、農業所得が低い、後継者がいないなどの問題を抱え厳しい状況にある。しかし、目に付くような放棄田をそのままにしておくことはできない。いろんな機関が集まって何とか再生できないか。これについて担当課長はどう思っているのか。

町長

町では、9月27日に生命産業法人設立検討委員会を設置した。その中で放棄田の問題や町の特産物について考えていくつもりだ。今後、町で考えているのは、15年の3月までには法人を立ち上げ、いろんな面での取り組みをしていきたい。その際には皆さんの意見も聞かせていただきたい。

大角農業水産課長

放棄田や遊休地は、統計上は5反程度となっているが、実際は全体で2ha程度ある。農地を保全する立場で地権者と話し合いはするが、財産権、親作小作権の関係もあり一方的に行政が介入することはできない、双方が歩み寄って解決するのが望ましいが、難しいところがある。そこで町としては、農地に関して法的な保有合理化事業を進めるために法人格を作って対処していきたいと思う。

座長

土地の有効利用と対応に関して質問はないか。

住民

土地の荒廃の他に荒廃予備軍の問題がある。これは、耕作希望者と受託希望者のアンバランスから来る。今のままでは経済効率の悪い田が残り、隙間ができる。その対策として入善全域を包括し、隣町と連携がとれるような公の機関を設けてはどうか。

大角農業水産課長

5年後10年後に全体のバランスが崩れてしまうのは、野中地区と飯野地区であると言われている。そこで町は、生産組合単位で地域計画を立て、お互いに作業効率が

良くなるよう指導していきたい。

住民

年貢が年々下がっており、一部ではタダならやってあげるなどの声が聞こえてくる。土地改良区の負担金などをかけていったら残らない。いったいどこまで下がるのか。

大角農業水産課長

年貢は、米価や単収などの適正な基準で決まる。例えば、1 ha であれば2条刈りで充分やっていけるのではないかとといった基準を基に、稼働時間や経費、土地改良区の負担金などを計算し算出する。年貢は地価と違うので米の生産費から割り出している。

住民

野中では、年貢は貸し手と借り手の会議で決まる。今年は貸し手が2人、借り手が10人いて、1,500円下がった。貸し手と借り手が同じ人数でないといけない。現金は下がるが、飯米は2万円で計算している。おかしい。

大角農業水産課長

年貢は、各地区ごとに町を基準としてランク付けしている。飯野とかの海岸地帯や山間地では段階をつけ、地域の実情で決めているところもある。

住民

町の基準は、まだ下がるのか。年貢を決めるときに案内がないがきめたら内容を教えて欲しい。

大角農業水産課長

まだ下がるが、野中地区は町より少し上である。

(2) 市町村合併

住民

小泉内閣の行政改革の一つとして市町村合併が進められている。入善町も合併が考えられる。そこで気になるのが、下水道工事である。入善町のみで工事をするのか、それとも合併して広域圏とするのか知りたい。また、合併には良い点があるので教育にしる施設を建てるにしる、大きな観点で考えていって欲しい。

町長

現在、2市3町で合併のための委員会が設置され、勉強会が開かれている。町としては、町民に合併について説明し、その後アンケートを採りたいと思う。それからメリット、デメリットをふまえ、町の方向を決定したい。国の方では17年を目処に合

併が進められているが、4年しかないのにできるのか。もし、2市3町で合併すると650億円かかる。国が補助金を出すと言っているが、それだけで決めていいのか。細かい所まで目が届くのか。十分に検討しなければならない。

先程出た下水道工事に関しては、新屋地区が17年に終わるので、野中地区は15、16年に話に入ってくると思う。下水道工事は、合併しても入善は入善でやっていく。また広域的な教育合併については、現在の舟見中学校は単独校であるが、生徒数の減少を考えると、将来的には西中、入中への合併も考えられるだろう。これについては、地区の人たちと十分に話し合いたい。

住民

合併については、後で悔いのないように考えてほしい。効率的なものは広く考えた方がよい。

少子化について。高齢化社会に向けて福祉を充実させるといっても、子供がいないと成り立たない。町の活性化は子供なしではあり得ない。少子化問題に対して良い案があれば聞かせて欲しい。

町長

少子化は難しい問題だ。対策として、都会に行った若者が戻ってくるようなまちづくりをしたい。そのために入善町の資源を利用した企業を設置したい。若者が帰ってくれば、子供も生まれ、少子化は減速するだろう。また、子供を産まない人に産みやすい場所や機会、環境を提供していきたい。近いうちにその辺を広報でPRしたい。

住民

小児科医院も減少し不安である。これから子供を育てるという点に力を入れて欲しい。

(3) 町営バスについて

住民

来年3月で地鉄バスの舟見線が廃止になると聞いている。もしそうなれば、下今江、古林、上今江路線を作り、町営バスを走らせて欲しい。

町長

地鉄バスが通ったところを走るとは、法律に触れる。しかし、調査し増便や路線変更をして皆さんの足を確保したい。

(4) 道路問題について

住民

岩崎線期成同盟は生きているのか。また、野中の五差路をどうにかして欲しい。

松島財政課長

この話は毎回出ている。地元住民にバイパスがいいか、現状拡幅がいいかを話し合ってもらったが、まとまった意見が出てこなかった。もしまとまれば、町として実現できるように努力したい。県道についても要望がたくさん出ている。例えば新幹線のアクセス道路にして欲しいというものがある。皆さんの要望を聞いてルートを決めたい。

住民

暫定的なものでよいから、もう少しゆとりのある交差点にならないか。

松島財政課長

県は、一度工事した所を再度工事することはない。町としては、安全確保のためにカーブミラーなどを付けたい。

区長会長

各区長に住民の意見を聞いてもらったところ、野中と中沢は現状拡幅を希望し、下今江と古林はバイパスを希望しているとのこと。住民感情もあり、なかなか決まらない。しかし、これからもう一度話し合ってみたい。

住民

朝日町の下野に隣接している私たちの地区だけが残っている。どうにかならないか。

住民

朝日前沢公園線の拡幅が優先。基本線をやらないと横道はできない。

(5) 水博物館、下水道工事について

住民

3～4年前から県東部に水博物館ができると聞いているが、それはどうなっているのか。また、下水道工事についてもっと詳しく知りたい。一戸当たりの負担額や支払方法について教えて欲しい。また、簡易水洗はそのまま使えるのか。経費は地区ごとか。それとも全町のプール計算になるのか。

大木企画広報課長

3～4年前から水博物館建設の話があったが、2市3町の協議会で話し合った結果、はじめに建物ありきでないという考えになった。建設費は80～90億になり、黒部に建てるか、入善に建てるかという問題もあった。現在考えられているのが、バーチャルミュージアム構想である。これが整備されるのは、16年度ぐらいだと思う。現在は建物建設の構想はないと受けとめている。

中島下水道課長

下水道について。野中・舟見地区は17年度頃からと考えている。完成は21～22年頃。負担金は一軒当たり25万円。次の年から3ヶ年で年4回の支払いとなる。一回当たり2万円くらいとなる。支払方法は、分割でも一括でもよい。

簡易水道は、公共の場合は、切り替え後3年以内に切り替えてもらうようになる。個人の場合は、最初は、道路から1m以内に公共マスを作る。後は個人負担。150万円までの借り入れについては、利子補給する。

住民

町に簡易水道の管理を移管して30年以上経つ。県道を通り、しょっちゅうパンクする。サヤ管を入れて欲しい。

中島下水道課長

新屋地区は、下水道の中に新たに水道管が同時敷設されている。舟見では12年度から5年かけて整備している。野中もできれば、下水道と一緒にやっていけばいい。そうなれば、当然負担金の値上げも考えられる。

(6) 深層水について

住民

深層水事業は具体的にどのようなになっているのか。また、農業とどのように関連しているのか。

町長

現在、施設では水が汲み上がっている。深層水が自由に採れる施設は12月中旬にできる。また、20分で10トンぐらい採れる大きな施設は12月中旬に完成する。1年間町民の方に深層水を無料で提供する。そして、皆さんに水の使い道についてアイデアを出してもらい、町の産業にしたい。

深層水は、温度が1度で無菌である。この水を農業の分野にも活かしていきたい。

大角農業水産課長

現在、県立大学では、脱塩水(蒸留水)と濃縮水の研究が行われている。深層水には殺菌の効果があり、ハウスや米の栽培に利用できる。農薬を使わない農業ができることを期待している。

住民

トマトに深層水を使ってみたが、効果がなかった。また、入れる時期や量が分からなかった。町独自で利用方法を研究する施設を設けてみてはどうか。

助役

オープンラボを作り、実験するスペースを設けてある。これからは県外の研究者も呼べるようなシステムを作っていきたい。

(7) 舟川の溪流について

住民

舟川は優れた景観を保ち、その溪流を活用して欲しい。

松島財政課長

県との話し合いで、舟川にはダムを造った方がいいということになった。舟川の下流は深いが、上流は浅いのでよく氾濫を起こす。ダムを造ってから、必要なら堤防の嵩上げ工事も行おう。

(8) 高齢化について

住民

野中地区は一人暮らしが多い。何か防犯連絡体制のようなものはできないのか。

上原健康福祉課長

入善町では、一人暮らしの方が500名いる。高齢者のみで住んでいる方が多い。町の方ではリストを作り、手だてをしている。また問題のあるケースについては専門の方に入ってもらっている。これからは、地域を支える方々と連携をとりながら、高齢者の安全確保をしていきたい。特に問題があれば、窓口の方へ相談しに来て欲しい。

閉会

平成13年度 まちづくり懇談会 ご意見カード集約表

NO	内 容		関係課	備 考
1	行政は行き当たりばったりの計画が多い。しっかりとしたプランと実行を。	1	企画広報課	
2	各所の点在するものを1カ所にまとめて展示(明治村とまでは行かないけれど)	1	企画広報課	
3	まちづくりのプランがどこまで進んでいるか目に見えない。(題目だけが先行している)	1	企画広報課	
4	フリートークは言いたい放題でまちづくりの話がない。	1	企画広報課	
5	町の人口減少にどのような対策を講ずるのか。	1	企画広報課	
6	質問者・提案者は簡潔に意見をまとめて発言して欲しい	1	企画広報課	
7	要望等に対して全て答えを出さなくても、もっと踏み込んだ答弁をして欲しい。	1	企画広報課	
8	少子高齢化対策の場として、男女の交流の場を作って欲しい。	1	企画広報課	
9	まちづくり懇談会にもう少し若い人達に参加して欲しい。(若い人に興味のある課題提供)	1	企画広報課	
10	毎年同じ課題である。もっと違ったものを課題にして欲しい。	1	企画広報課	
11	まちづくり懇談会を年に数回の分科会形式で開いたらどうか。	1	企画広報課	
12	町主導で、町民を誘導し引っ張ってゆく行政姿勢であって欲しい。	1	企画広報課	
13	町の企画を提案した上で皆さんの意見を聞くことも大切ではないか。もっとリーダーシップの発揮を。	1	企画広報課	
14	地区の要望のとりまとめが、地区の各団体からの声を反映していない。	1	企画広報課	
15	記録紙を希望者へ配布願います。	1	企画広報課	
16	高畠～芦崎漁港線に大型の防犯灯を3基程度設置して欲しい。	2	総務課	
17	桃李小学校通学路の早期整備(冬場の通学路危険回避のため通学路の整備)	2	総務課	
18	市町村合併は、入善町の利便性を生かした合併に。	2	総務課	
19	信号機の設置要望 梶山交差点(県道入善朝日線+県道小杉梶山線)	2	総務課	
20	信号機の設置要望 飯野地区東狐交差点...点滅	2	総務課	

平成13年度 まちづくり懇談会 ご意見カード集約表

NO	内 容		関係課	備 考
21	信号機の設置要望 飯野交差点(県道上飯野入善停車場線 + 県道高畠上飯野線)	2	総務課	
22	信号機の設置要望 小摺戸1区交差点(県道黒部朝日公園線線 + 県道新屋上野線)	2	総務課	
23	子供が多く育てる人には税の軽減、又は報奨金を出す方法はどうか。	4	税務課	
24	(要約)環境を考えた建設残土の処理(建設残土のストックヤード建設に反対)	5	住民環境課	
25	海の見えるところに老人ホームを作って欲しい。	6	健康福祉課	
26	子供から老人まで集える所があった方がよい。	6	健康福祉課	
27	少子化対策。出産費や養育費の大幅な補助を行って欲しい。	6	健康福祉課	
28	医療や介護保険など困ったときにもっと分かりやすく具体的に知るシステムづくりを作って欲しい。	6	健康福祉課	
29	声かけ運動を充実し、町全体で輪を広げましょう。	6	健康福祉課	
30	(要約)若者に夢を持たせる農業政策をお願いします。	8	農業水産課	
31	家族で釣りが楽しめる場所、釣桟橋などを作って欲しい。また、観光開発の一端として海洋開発に力を入れて欲しい。	8	農業水産課	
32	農業公社の計画は農家の期待するところであります。一時しのぎではなく、早急な実施をお願いします。	8	農業水産課	
33	稲作経営安定のための農業政策を望みます。	8	農業水産課	
34	加工品の特産物を作ろうと思っても、規制(保健所など)があって思うように作れない。規制緩和をお願いします。	8	農業水産課	
35	海洋深層水を利用した企業を沢山作って町の活性化になれば良い。	9	海洋深層水課	
36	海洋深層水は夢だけで町としての方向が見えてこない。もっと具体的に！	9	海洋深層水課	
37	中心市街地の活性化対策	10	商工観光課	
38	中心地における公衆便所の不足	10	商工観光課	
39	町の名所のパンフレットが役場へ行かなければ手に入らない。	10	商工観光課	

平成13年度 まちづくり懇談会 ご意見カード集約表

NO	内 容		関係課	備 考
40	町の名産品の展示場所がない。	10	商工観光課	
41	早急な企業誘致を実施して欲しい。	10	商工観光課	
42	宇奈月温泉から入善町に人が流れるコースを考えたら(例えばモノレールで扇状地を散策するとか)	10	商工観光課	
43	JR利用の駐車場問題(富山駅は無料駐車である)	10	商工観光課	
44	経済の低迷の中で、企業誘致はままならないが、入善町の水と深層水の活用で関連企業の誘致を積極的に行い、雇用の拡大に努めて欲しい。	10	商工観光課	
45	のらんマイカーに音楽を流すということに賛成だ。	10	商工観光課	
46	入善町のPRをどんどんして欲しい。	10	商工観光課	
47	宗道(高畠～土畝野線)の高畠～七蛇水間の用水側にカートレールを設直するよう宗側に働きかけて欲しい。	11	建設課	
48	庄助川の支流、島田医院前から清田清一間の三方コンクリ化の改修を早期に実施して欲しい。	11	建設課	
49	スーパー農道の新転べ橋の歩道除雪をお願いします。	11	建設課	
50	運動公園より上野入善用水管理道路の舗装をお願いします。	11	建設課	
51	公園の管理補助金、本来町が管理すべきもので、まじめに管理するととても足りない。これでよいのか。	11	建設課	
52	国道8合から吉原への道路を拓げて欲しい。	11	建設課	
53	排水路や用水路の洪水について、宅地開発などにより水田のダム的な機能が失われている。対策を考えて頂きたい。	11	建設課	
54	国道8号から桜台町内(町道青島線)の道路が狭く、冬場、安全性が確保出来ないのではないかと。早期の拡張を望みます。自己が発生してからでは遅い。	11	建設課	
55	排水路や用水の洪水対策として、用水の管理を農家だけで行うのは理不尽である。椋山地区内のJRガード下から暗渠排水方式として、農道利用をして抜本的に解決してもらいたい。	11	建設課	
56	椋山地区での下水道工事は出来るだけ早く進めるように。	12	下水道課	
57	学校の余った教室を利用して学童保育をしたらどうか	16	学校教育課	

平成13年度 まちづくり懇談会 ご意見カード集約表

NO	内 容		関係課	備 考
58	サンビレッジ前のグラウンドに、マレットゴルフやパークゴルフ18ホールの競技用をぜひ作って欲しい。	17	生涯学習・スポーツ課	
59	漁村センターの男子休憩所が狭いので広く増築して欲しい。	17	生涯学習・スポーツ課	
60	海岸に飲料水、炊事場、トイレを含むキャンプ場の設置。	17	生涯学習・スポーツ課	
61	近隣市町にプールがあるが、なぜか入善町にない。学校週休5日制にになり泳げる場所の設置。	17	生涯学習・スポーツ課	
62	沢杉周辺にマレットゴルフ場など2つ3つ複合施設を作ればどうか	17	生涯学習・スポーツ課	
63	運動公園内のトイレの整備	17	生涯学習・スポーツ課	
64	運動公園北側の駐車場が雨の日など駐車できない。舗装して欲しい。	17	生涯学習・スポーツ課	
65	運動公園内にジョギングコース内に水銀灯を設置して欲しい。	17	生涯学習・スポーツ課	
66	(要約) 柏原兵三記念館(仮称)の建設を。また、長い道から沢杉までのエリアの整備を。	17	生涯学習・スポーツ課	